

庁議の概要

開催日 平成 23 年 1 月 4 日 (火)

◎項 目

- 1 知事の年頭あいさつ
- 2 各部署等の動向について【各部署等】
- 3 その他

◎内 容

1 知事の年頭あいさつ

知事から年頭のあいさつを行った。

【概要】

- ・ 昨年は挑戦の年として位置付け、大河ドラマの追い風を生かし切るべく全力で取り組みを進めてきた結果、観光客の大幅な増や大きな経済効果から考えても、この追い風を生かすことができたのではないかと。また、保健、医療、福祉分野においても、日本一の健康長寿県構想を策定し、実行を始めた年であり、様々な面で具体的な取り組みが前に進んだと言えるだろう。さらに、教育改革の面でも、学力テストや体力テストにおいて大きな改善が見られ、教育委員会と学校現場がともに車の両輪となって取り組んでいる教育改革が進みつつある。そのほか、危機管理面においては緊張感を伴う事案に対し取り組んでいただいたし、総務部や監査委員事務局、会計管理局では中長期の財政の安定化を図りながらも規律を守っていくという取り組みを行っていただいた。また、県民の安全・安心の確保のために、県警本部の皆さまも本当に頑張っていたいただいた。昨年 1 年間の県庁職員の皆さまの努力に対し、心よりお礼を申し上げたい。
- ・ 平成 23 年は正念場の年だ。龍馬ブームの追い風が弱まり、去年ほどスムーズにいかないということも多々出てくるだろう。しかし、ここで踏みとどまり継続して前に進むことで、元の木阿弥となるか、県勢浮揚に向けて確実な前進を成し遂げることができるかの別れ目となる。私たちは去年成し遂げた多くの財産を持っている。例えば、地産外消を進めるため、地産外商公社や「まるごと高知」といった仕組みが十分に整い、機能し始めた。その過程で多くの有益な人間関係を築くことができ、さらには様々なノウハウも蓄積しつつある。今年はこの仕組みとノウハウを土台として具体的な成果をあげるための取り組みを進めていかなければならない。
- ・ 日本一の健康長寿県構想は 2 年目を迎える。昨年、県民の皆さまからいただいたご意見は知恵の宝庫だと考えている。これを踏まえて、今年は計画をバージョンアップし、この取り組みをより確実なものにしていきたい。
- ・ 教育分野では、体力テストや学力テストの結果などにおいて、やればできるということを実感でき、多くの県民の皆さまから温かい励ましの言葉もいただくようになってきた。教育現場や県教育委員会では、高知県の子どもにも、少なくとも全国と同レベルの教育を与えたい、そういった教育体制を築いていきたいという思いで取り組みを進め、知事部局としてもバックアップをしてきた。引き続き、教室を変える、授業を変える、放課後を変える、という取り組みを徹底し、子どもたち一人一人の心に届いていくかどうか、この点においても正念場の年だと考えている。
- ・ インフラ整備については、昨年の国の予算編成の過程において大きな前進があり、土木部や東京事務所

